

ロボット支援胃切除術

手術支援ロボット・ダヴィンチを用いた腹腔鏡下胃切除術です。

これまでは、先進医療や自費診療で行っていましたが、2018年4月より保険収載され、通常手術と同様に行えるようになりました。

ロボットの利点として、3Dカメラとズーム機能によって、リアルな立体視と拡大視が可能になります。さらに、鉗子の関節機能や手振れ防止機能によって、鉗子を術者の手指のように操作でき、より緻密かつ繊細な手術が可能になります。それらの利点を生かすことで、術後の合併症を軽減することができ、難易度の高い手術でも安全かつ低侵襲に行うことができます。左図：術者が操作を行うコンソール。右図：最新ダヴィンチXi



当科ではダヴィンチSiに加えて、2018年7月に最新機種であるよりコンパクトなダヴィンチXiを導入し、計2台体制でロボット手術を行っています。週3回と十分なロボット手術枠がありますので、手術予定は、通常の手術と変わりありません。